

広報広聴委員会行政視察報告

- 【視 察 日】 平成30年8月6日（月）～7日（火）
- 【視 察 委 員】 山根一委員長、増田克彦副委員長、石井通春委員、油井和幸委員、
深津寧子委員、八木勝委員、（山本信行委員は病気のため不参加）
- 【視 察 先】 埼玉県戸田市、福島県会津若松市

◆ 8月6日(月) 埼玉県戸田市

- 【調 査 事 項】 1. 議会だよりの編集発行について 2. 議会モニター制度について

1. 議会だよりの編集発行について

➤ 取り組みの経緯・内容

- ・戸田市の「とだ議会だよりの」は、さまざまな研修会で内容記事が紹介されるなど編集の取り組みが評価されている。昭和48年3月1日に創刊され、現在201号。
- ・編集方針として、わかりやすく、親しみやすい「読まれ、役に立つ広報誌」となるように次の3点に留意している。†やさしい言葉遣い †写真・図などの活用 †できるだけ文字を大きく
- ・議会モニターや読者参加のクイズなど、議会だよりの紙面についての意見を吸い上げる仕組みができていて紙面のレベルアップの契機となっている。
- ・全般に若者に受けのいい紙面づくりを目指す方向性を感じる。
- ・広報は各地の優秀広報誌の長所を取り入れ、ほぼ毎年改善している。
- ・下記「議会モニター」からも意見を吸い上げ紙面の改善に取り入れている。

➤ 本市に反映できると思われる点

戸田市の広報にみられる下記編集方針はできる限り取り入れたいところである。

- ・市の予算付け箇所を地図上に示したものを掲載する。
- ・小中学生の参加で若い世代が手に取るきっかけをつくる。
- ・読者参加のコンテンツで紙面に関する要望を吸い上げる。
- ・「議会を何も知らない/わからない」として読者層を意識する。
- ・他市町の広報誌の良い部分を取り込む。そのための調査研究を行う。

2. 議会モニター制度について

➤ 取り組みの経緯・内容

- ・戸田市議会では、議会運営等に関して市民からの意見や提言などを幅広く聴き、それらを反映させるための制度として、H23年度から議会モニター制度を導入している。
- ・定員15名のモニターは本会議、委員会の傍聴から議会運営などに関して意見/提言を提出する。
- ・定員15名に対し現状4-6名程度の応募で推移している。

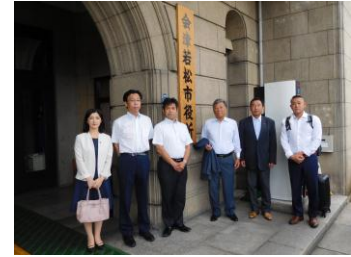
➤ 本市に反映できると思われる点

- ・議会に対して市民の直接的な見解を得られるという意味で議会モニター制度は大変有用な制度である。議会タウンミーティングを改善する方策として、あるいは同様の制度の併設など検討したい。



◆ 8月7日(火) 福島県会津若松市

- 【調査事項】 1. 声の広報議会について 2. 議会広報誌について
3. 議会報告会について



1. 声の広報議会について

➤ 取り組みの経緯・内容

- ・会津若松市では平成 17 年ころから市政だより(広報)の朗読版「声の市政だより」と点字版の市政だよりを発行している。議会だよりもこれを踏襲し、H22 年より「声の広報議会」、H28 年度より点字版広報議会を発行、配布している。

《参考:藤枝市議会だよりについても同様の取組あり》

- ・本市では藤枝市社会福祉協議会に委託して音訳、点訳の広報を配布している。

➤ 本市に反映できると思われる点

- ・音声ファイルを Web に掲載することは利用者の利便性を考慮して(ニーズがあるなら)検討してもいいと思う。掲載ページを読み上げる、などのサービスも考えられる。

2. 議会広報誌について

➤ 取り組みの経緯・内容

- ・「あいづわかまつ広報議会」昭和 49 年 5 月創刊。発行部数 52,500 部。
- ・各種団体、高校、大学から広報議会モニターを 60 名を選出し、年 2 回アンケートを実施して広報への意見/感想/希望を募っている。

➤ 本市に反映できると思われる点

- ・広報誌の紙面は読みやすさにおいて参考になる点が多い。本市の広報にも取り入れることを検討したい。
- ・読者の見解を取り入れる広報モニターの制度は優れていると思う。本市においても読者の意見を取り入れる仕組みを考えていきたい。
- ・モニターに高校生・大学生を参加させているのは、若年層に議会への興味を持ってもらうために良い方策と思う。参考にしたい。

3. 議会報告会について

➤ 取り組みの経緯・内容

- ・15 地区 5 班(班に 6 名の議員が担当)に分かれて「市民との意見交換会」実施。年 2 回、足掛け 5 年で 20 回実施。市民の参加者は 230 名程度。
- ・交換会で挙げた意見要望については班で現地に出向いて調査し、改善の結果を市議会だよりで報告している。このプロセスの中では広報広聴委員会が議会/議長/関連委員会と班の間の連絡調整など多くの役割を担っている。

➤ 本市に反映できると思われる点

- ・「意見交換会」は多くの市民の声をダイレクトに受け入れる仕組みとして大いに参考になる。本市の議会タウンミーティングに同様の理念を組み込めるか検討したい。
- ・意見交換会後の現地審査は本市でもぜひ取り入れていきたい。